

2021年度
京都歯科医療技術専門学校
学校関係者評価 報告書

2022年 2月
学校関係者評価委員会

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的
2. 学校関係者評価の基本方針
3. 学校関係者評価委員会実施日時
4. 学校関係者評価委員会出席者
5. 自己点検・自己評価アンケート
6. 学校関係者評価方法

II. 学校関係者評価結果

1. 評価結果
 - A. 学校役員・専任教員結果
 - B. 学生アンケート結果
2. まとめ
3. 総 評

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、京都歯科医療技術専門学校（衛生士科・技工士科）の学校関係者評価委員会での検討結果を記載したものである。

令和 4年 2月15日

学 校 長 長澤 成明

自己点検・自己評価 集計担当者 村西 実智浩

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

自己点検・自己評価結果の客観性・透明性を高めると共に、学校関係者評価委員会の設置により継続的な連携協力体制を確保し、学校運営の更なる改善を図ることを目的とする。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・自己評価結果をもとに、専修学校における学校評価ガイドラインに基づき実施する。

3. 学校関係者評価委員会実施日時

第1回実施日：令和 3年12月 8日（水）午後6時～午後7時

ところ：京都歯科医療技術専門学校 会議室

第2回実施日：令和 4年 1月26日（水）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、書面開催とする

4. 学校関係者評価委員会 出席者

◎学校関係者評価委員

	職 名	氏 名
委員長	歯科医師	後 藤 保
副委員長	歯科医師	大 西 太
委 員	歯科医師	岩 田 光 生
委 員	歯科医師	佐々木 継 泰
委 員	歯科医師	平 井 千香子

◎自己点検・自己評価委員

	職 名	氏 名
委員長	学 校 長	長 澤 成 明
副委員長	副学校長	請 田 研 二
委 員	副学校長	中 出 勝 久
委 員	教務部長	秦 野 博 司
委 員	衛生士科 学生部長	松 井 恭 子
委 員	技工士科 学生部長	栗 田 和 則
委 員	技工士科 教務主任	村 西 実智浩
委 員	衛生士科 教務主任	有 井 真 弓

◎事務局

	職 名	氏 名
事業部	学校担当	岩 村 信 子

5. 自己点検・自己評価アンケート

学校役員及び専任教員（計16名）への設問は67問、学生アンケート（衛生士科57回生50名・衛生士科58回生46名・衛生士科59回生53名・技工士科50回生20名・技工士科51回生17名）への設問は20問とした。設問については、資料1に示す。

実施日：2021年1月

実施方法：配票調査法

6. 学校関係者評価方法

学校関係者16名（回収率100%）が回答した自己点検・自己評価結果及び5クラスの学生（回収率99.5%、衛生士科58回生1名未回答）が回答した学校評価アンケートの結果に基づき、評価項目の結果及び改善点についてそれぞれ検討を行った。

学校関係者評価委員会は2回開催し、意見を伺った。

なお、設問毎に評価項目は3回答（適切：A ほぼ適切：B 不適切：C）から選択し、その中で不適切評価の割合が比較的高いものを改善していく方向とした。

II. 学校関係者評価結果

1. 評価結果

A. 学校役員・専任教員

資料2に学校役員6名と専任教員10名の自己点検・自己評価のアンケート結果を示した。

設問65、設問66においては、不適切との回答がそれぞれ30%以上あり、改善策が求められる。

※改善が求められる設問を下記に示す。

設問65：学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか。

設問66：国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか。

※改善方策について

設問65：現在のカリキュラムは授業の中に学生のボランティア活動を勧めるための取り組みはなく、支援も行っていないのが現状である。今後、支援が行えるカリキュラム作りをしていく必要がある。

設問66：国際的視野も含め、専門の人材を確保し、授業科目の見直しを行う必要がある。

今回、(設問16と42)・(設問29と36)・(設問34と38)の3つの内容が酷似しており、設問の見直しが求められた。

また、設問4, 6, 7, 8, 10, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 40, 41, 42, 49, 54, 55, 59, 61, 62, 63, 64, 67等、多くの設問において、ほぼ適切との回答を得たが、まだ改善の余地があると考えられる。

B. 学生アンケート結果

資料3に学年5クラス（衛生士科57回生50名・衛生士科58回生45名・衛生士科59回生53名・技工士科50回生20名・技工士科51回生17名）の学生が回答した学校評価アンケートの結果を示した。衛生士科58回生では未回答1名あり。

衛生士科58回生及び衛生士科59回生においては、適切・ほぼ適切との回答が大半を占めた。今回、5クラスとも特に改善が求められる設問は無かった。

また設問1, 3, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 18, 19, 20等、多くの設問については、ほぼ適切との回答ではあるが、まだ改善の余地があると考えられる。

昨年度は両科の最終学年は実施を見送ることとしたが、今年度は5クラス全てにおいて実施できた。アンケート実施時期については、今後も検討していく。

2. まとめ

今年度も昨年同様に新型コロナウイルス感染症の影響で学生、教職員ともに大変な1年となりました。

今回の学校評価結果においては、多くの設問において、適切・ほぼ適切との回答が得られ、概ね評価をいただいているものと思います。

しかしながら、一部の設問においては、まだ改善の余地が残されており、学校関係者や学生の理解が得られる教育環境の整備が必要と思われます。

2年前からコロナ禍となり、昨年度はオンライン授業導入に係る補助制度を活用し、校内LAN工事の整備を行いました。また、今年度は対面授業と遠隔授業を両立したハイブリッド授業を取り入れ、学生の安全と教育環境の確保を両立して参りました。今後も時代に即した対応をしていきたいと思ひます。

本校に入学した学生が、プロの医療ライセンスを目指す誇りある志しを持った学生になることを祈念し、今後も本校の発展に寄与していきたいと思ひます。

3. 総 評

本委員会は、京都歯科医療技術専門学校の学校運営に関する自己点検・自己評価結果について、学校関係者による評価を行い、自己点検・自己評価結果の客観性、透明性を高め、理解促進、連携協力によって学校運営の改善に役立つことを目的としています。

学生さんからの学校評価アンケートも拝見させていただきました。その結果、本校での学校生活の充実が図れ、広い視野を持った人間性豊かな医療人となる教育方針が確認できました。

自己点検・自己評価結果に基づき、私たち評価委員は、難しい判断をさせていただきましたが、ほとんどの項目で適切・ほぼ適切との評価を確認し、学校関係者の取組みにも理解を示すことが出来ました。

2年前からコロナ禍の中、中止になった行事や研修会が多く、急なカリキュラム変更を余儀なくされた現状も理解出来ました。今後もコロナ禍での学校運営、学生の安全を図りながらの教育の質保証の方策を検討していただきたいと思います。

今回、学校関係者に行った設問において酷似した内容を精査し、来年度は設問を63問として行って下さい。今後も課題を解決するために、評価委員の意見を反映していただき、京都歯科医療技術専門学校の教育の質を高めていただく取組みをお願いします。

私たち評価委員は、今後も引き続き学校の発展に協力していくと共に、学生さんが安心して学ばれる環境をお手伝いしていきたいと思います。

学校関係者評価委員会を代表として総評と致します。

学校関係者評価委員会
委員長 後藤 保

本校の学校運営に役立てるため、自己点検・自己評価にご協力をお願いします。
下記の項目に対し、評価基準に合わせて該当する数字に○を記入して下さい。

【評価基準】 適切：A ほぼ適切：B 不適切：C

1. 教育理念・目的・育人人材像

	評価
1 目的・育人人材像は定められているか	A・B・C
2 育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	A・B・C
3 理念・目的・育人人材像等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか	A・B・C
4 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	A・B・C

2. 学校運営

5 理念・目的に沿った運営方針を定めているか	A・B・C
6 運営方針に沿った事業計画を定めているか	A・B・C
7 設置法人は学校運営のための組織を整備し、組織運営を適切に行っているか	A・B・C
8 人事に関する制度を整備しているか	A・B・C
9 給与制度を整備しているか	A・B・C
10 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	A・B・C
11 学籍簿は、学籍の記録、履修状況が正確に記載され、保管が適切にされているか	A・B・C

3. 教育活動

12 教育理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	A・B・C
13 学年毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	A・B・C
14 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	A・B・C
15 各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	A・B・C
16 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムが実施されているか	A・B・C
17 各職業領域からの優れた講師の確保などマネジメントが行われているか	A・B・C
18 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準を明確にしているか	A・B・C
19 目標とする資格・免許は、教育課程上で明確に位置づけているか	A・B・C
20 資格取得の指導体制はあるか	A・B・C
21 資格・要件を備えた教員を確保しているか	A・B・C
22 教員の資質向上への取り組みを行っているか	A・B・C
23 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる教育を確保しているか	A・B・C
24 教員の先端的な知識・技能等を修得するための研修や資質向上のための取組みが行われているか	A・B・C

4. 教育成果

25 府内就職率を高めるように努めているか	A・B・C
26 就職等進路に関する支援体制を整備しているか	A・B・C
27 関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか	A・B・C
28 具体的な就職指導に関するセミナー・講座等を開講しているか	A・B・C
29 学生の就職活動状況を学内で共有しているか	A・B・C
30 中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか	A・B・C
31 中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか	A・B・C
32 学生相談に関する体制を整備しているか	A・B・C
33 生活面・学習面等での相談体制を整備しているか	A・B・C
34 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	A・B・C
35 保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか	A・B・C

5. 学生支援

36	進路・就職に関する情報提供等の支援体制はあるか	A・B・C
37	学生が相談できるカウンセリングは整備されているか	A・B・C
38	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A・B・C
39	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	A・B・C
40	保護者と適切に連携しているか	A・B・C
41	卒業生の支援体制はあるか	A・B・C
42	キャリア教育を教育活動に導入しているか	A・B・C

6. 教育環境

43	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	A・B・C
44	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A・B・C
45	学外授業の実施体制を整備しているか	A・B・C
46	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	A・B・C
47	施設・設備の整備、メンテナンスは適切に行われているか	A・B・C

7. 学生の募集と受入

48	学生募集を適切かつ効果的に行っているか	A・B・C
49	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	A・B・C
50	学生募集のための、ホームページの工夫はされているか	A・B・C
51	広報活動経費が適正に算定されているか	A・B・C
52	入学辞退者に対し、授業料等について、適切な取り扱いを行っているか	A・B・C

8. 財務

53	学校の財務状況を把握しているか	A・B・C
54	学校および法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	A・B・C
55	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A・B・C
56	財務について会計監査が適正に行われているか	A・B・C
57	財務情報公開の体制整備はできているか	A・B・C

9. 法令遵守

58	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	A・B・C
59	個人情報保護に関する対策を実施しているか	A・B・C
60	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	A・B・C
61	自己評価の問題点の改善に努めているか	A・B・C
62	自己評価結果を公開しているか	A・B・C

10. 社会貢献

63	重要な社会問題について、学生・教職員への啓発を行っているか	A・B・C
64	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A・B・C
65	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A・B・C
66	国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか	A・B・C
67	学校資源を活用した生涯学習事業や附帯教育活動を実施しているか	A・B・C

自由記載：課題や意見等、あれば自由にご記入ください

--

一般社団法人 京都府歯科医師会会立 京都歯科医療技術専門学校
令和2年度学校評価学生アンケート

本校の学校運営に役立てるため、学生のみなさんのご意見をお聞きしたいと思います。
あなたの学科と学年を教えてください。
下記の項目に対し、評価基準に合わせて該当する数字に○を記入して下さい。

学科・学年
衛1・衛2・衛3
技1・技2

【評価基準】 適切：A ほぼ適切：B 不適切：C

1. 教育理念・目的・育成人材像

		評価
1	理念・目的・育成人材等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか	A・B・C

2. 教育活動

2	学年毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	A・B・C
3	各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	A・B・C
4	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準を明確にしているか	A・B・C
5	資格取得の指導体制はあるか	A・B・C

3. 教育成果

6	府内就職率を高めるように努めているか	A・B・C
7	就職等進路に関する支援体制を整備しているか	A・B・C
8	生活面・学習面等での相談体制を整備しているか	A・B・C
9	保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか	A・B・C

4. 学生支援

10	進路・就職に関する情報提供等の支援体制はあるか	A・B・C
11	学生が相談できるカウンセリングは整備されているか	A・B・C
12	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A・B・C
13	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	A・B・C

5. 教育環境

14	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	A・B・C
15	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A・B・C
16	学外授業の実施体制を整備しているか	A・B・C
17	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	A・B・C
18	施設・設備の整備、メンテナンスは適切に行われているか	A・B・C

6. 社会貢献

19	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A・B・C
20	国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか	A・B・C

学校評価アンケート結果(学校役員・教員)

(R3年1月実施)

資料2

【評価基準】 適切:A ほぼ適切:B 不適切:C

学校役員(6名)回答数6
教員(10名)回答数10

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	設問17	設問18	設問19	設問20
A	12	10	8	6	8	7	6	7	9	6	12	6	5	6	5	6	7	11	13	10
B	4	5	8	10	8	9	10	9	6	7	4	10	10	10	11	9	9	5	3	6
C	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0

	設問21	設問22	設問23	設問24	設問25	設問26	設問27	設問28	設問29	設問30	設問31	設問32	設問33	設問34	設問35	設問36	設問37	設問38	設問39	設問40
A	10	8	8	6	6	7	6	4	6	9	7	9	10	11	8	12	10	9	7	7
B	5	8	8	10	10	9	9	11	9	7	7	7	6	4	8	4	6	5	7	9
C	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	0	0	1	0	0	0	2	2	0

	設問41	設問42	設問43	設問44	設問45	設問46	設問47	設問48	設問49	設問50	設問51	設問52	設問53	設問54	設問55	設問56	設問57	設問58	設問59	設問60
A	4	4	9	10	10	8	11	10	5	8	10	12	8	7	7	10	8	13	6	9
B	10	12	7	6	6	8	5	6	9	8	6	4	7	8	9	5	8	3	9	7
C	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0

	設問61	設問62	設問63	設問64	設問65	設問66	設問67
A	7	6	4	3	0	1	2
B	9	8	11	11	11	10	12
C	0	2	1	2	5	5	2

31% 31% 31%

自己点検・自己評価結果からの改善点について

※改善が求められる設問

設問	65	学生ボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか。	⇒
	66	国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか。	⇒

【改善点】

現在のカリキュラムにおいて、授業の中に学生ボランティア活動を勤めるための余裕がなく、支援も行っていない。今後、前向きな活動支援が必要である。

より多くの国際的な人材を求め、授業に取り入れて行きたい。

※設問4,6,7,8,10,12,13,14,15,16,17,24,25,26,27,28,29,40,41,42,49,54,55,59,61,62,63,64,67については、ほぼ適切ではあるが、まだ改善の余地がある

学校評価アンケート結果(学生)
(令和3年1月実施)

アンケート回収 185名

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	設問17	設問18	設問19	設問20
衛生士科59回生(53名)	36	34	33	32	35	33	35	32	30	28	35	37	37	38	35	35	37	41	42	41
1年生	17	19	20	19	17	19	17	20	20	24	17	15	15	14	15	17	15	11	10	11
回答数53	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	設問17	設問18	設問19	設問20
衛生士科58回生(46名)	33	31	33	35	40	32	34	31	25	35	35	32	37	38	38	37	36	38	26	26
2年生	12	13	12	10	5	13	11	13	18	10	9	13	8	7	7	8	9	6	15	17
回答数45	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	4	2

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	設問17	設問18	設問19	設問20
衛生士科57回生(50名)	29	27	29	33	32	26	18	17	16	20	21	20	19	27	23	25	25	23	13	17
3年生	21	23	21	16	17	20	29	31	27	29	26	29	31	23	25	25	25	26	32	27
回答数50	0	0	0	0	1	4	3	2	7	1	3	1	0	0	1	0	0	1	5	5

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	設問17	設問18	設問19	設問20
技工士科51回生(17名)	8	8	7	9	10	7	6	6	5	8	8	10	9	12	10	12	10	9	3	4
1年生	9	8	10	8	7	8	10	11	10	9	9	6	8	5	7	5	7	8	11	12
回答数17	0	1	0	0	0	2	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	1

	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	設問15	設問16	設問17	設問18	設問19	設問20
技工士科50回生(20名)	10	11	9	14	14	7	8	9	7	9	10	6	11	9	11	9	12	8	4	5
2年生	9	9	10	6	5	9	9	10	7	9	9	14	8	11	9	9	7	12	9	9
回答数20	1	0	1	0	1	4	3	1	6	2	1	0	1	0	0	2	1	0	7	6

自己点検・自己評価結果からの改善点について
※特に改善が求められる設問：無し

※クラスによって結果が違いますが、設問1,3,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,18,19,20については、ほぼ適切ではあるが、まだ改善の余地がある